

城 文 協
JO・BUN・KYO

進めよう・広めよう・高めよう文化の輪

令和4年(2022年)1月26日発行

発行 城陽市文化芸術協会

第65号

城陽市寺田樋尻48-19

電話 0774-55-1210

FAX 0774-54-7506

E-mail: info@jobunkyo.jp

https://jobunkyo.jp

城陽市文化芸術協会会長
津守俊一

「コロナの先へ」

春いちばん 文化パルク城陽
文化まつり 2022

春いちばん文化まつり 日程表

開催日	時 間	部 門	文パルク会場
1月 30日(日)	13:00～16:00	洋楽スプリングコンサート	ふれあいホール
2月 6日(日)	10:00～16:00	花の歌謡ステージ	ふれあいホール
11日(金・祝)	10:00～16:00	芸能のつどい	ふれあいホール
19日(土)	11:30～16:00	古典文化芸術の集い	ふれあいホール
23日(水・祝)	10:00～16:00	吟 と 舞	ふれあいホール
26日(土)	12:00～18:00	簡単！素敵！手づくり講習会	市民プラザ
27日(日)	9:00～16:00	囲 碁 大 会	第3会議室
27日(日)	9:30～16:00	俳 句 大 会	第3会議室
27日(日)	12:00～16:00	俳 句 大 会	大会議室
3月 4日(金)	16:00～18:00	春 の 市 民 美 術 展	市民プラザ
5日(土)	9:00～18:00		
6日(日)	9:00～16:00		
5日(土)	9:00～18:00	第27回城陽切手展	第3会議室
6日(日)	9:00～16:00		
5日(土)	11:30～16:00	邦舞のつどい・民謡のつどい	ふれあいホール
6日(日)	11:00～16:00	舞踊フェスティバル	プラムホール
20日(日)	13:30～16:00	和 太 鼓 響 演	ふれあいホール
27日(日)	13:30～16:00	三 曲 演 奏 会	ふれあいホール

っており、気候や宇宙空間の問題をも解決
していかねばならないとなると、一市民と
して目まいを覚えるばかりです。

遠い昔の先人たちは、このような状態に
陥った時、ひたすら神仙にすがり祈ったの
でしょうが、現代の私たちはどのようにす
ればよいのか、悩むばかりです。賢人によ
る発明や発見や革新が必ずもたらされるも
のと信じて、右往左往せずに自己の生活を
潤いあるように作り上げていくのが、さし
あたつての正しい態度のように思います。

文化芸術協会の役割は、そのような生活
の潤いを実現する手助けをするものだと思
えて、今年も会員の皆様、市民の方々の文
化芸術活動を支援してまいります。後にな
りました、今年こそはコロナ禍の終息を
祈り、30周年記念行事の成功を目指して一
層の努力を続けてまいりますので、ご支援、
ご協力をお願い申し上げます。

「いつも会場を
盛り上げてくれる
たんぽぽ村音楽隊」

梅花ほころぶ季節に会場を

「春いちばん文化まつり」が1月末開幕

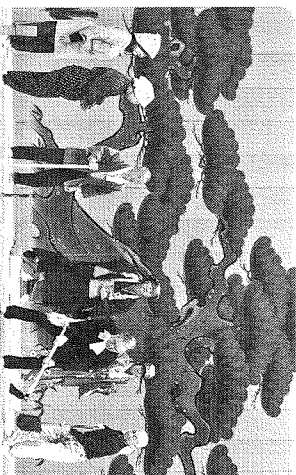
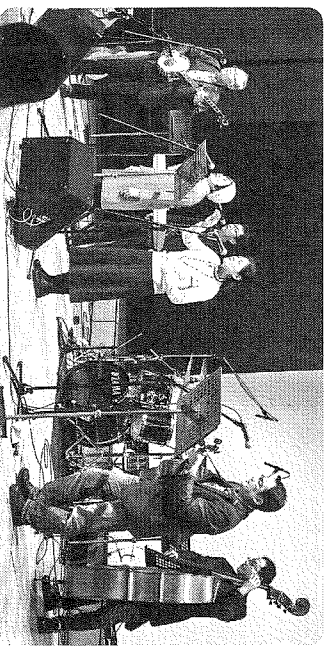
城陽市文化芸術協会は、1月30日から3
月末までの期間、文化パルク城陽を会場と
して「春いちばん文化まつり」を開催、多
くの来場者をお待ちしております。

当協会の年間2大イベントとして秋の
「市民文化祭」と春の「春いちばん文化ま
つり」があります。「春いちばん文化まつり」
は当協会の会員のみので行うイベントであり、
絵画や手工芸などの展示物と音楽や舞踊な
ど舞台発表とあらゆるものを披露させてい
ただきます。

府下の文化協会のなかでは当協会のみが
有する古典芸能「狂言」の舞台があったり、
多種多様なサークルの活動をお楽しみいた
だけます。

また「春いち」のイベントは協会のみか
日ごろの活動を見ていただくだけでなく、
来場者に手工芸を体験していただくイベン
トもございます。材料費は必要ですが、小
さな作品をその日に作って持って帰ってい
ただけますので、ぜひご来場ください。

予定していた「観梅茶会といけ花展」の
中止となりますが、2月、3月の梅の花
のほころぶ季節、土・日曜日には文化パル
ク城陽に足を運んでいただき、
協会員が丹精込めた作品や、
練習を重ねた舞台などをご覧
ください。



「古典芸能で笑わせてくれる狂言」

新型コロナウイルス感染防止のため、以下の取り組みをいたします。

- マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底にご協力ください。
- ご入場の前にお名前とご連絡先をお伺いします。
- ご入場の前に検温をいたします。

※検温の結果、37.5℃以上の発熱が確認された場合、入場をご遠慮いただきますので予めご了承ください。

上記事業は今後、関係者のみの開催または中止とさせていただきます。直近の状況はHP等でお知らせいたしますので、ご来場の際は必ずHPまたはお電話にて最新情報をご確認下さい。

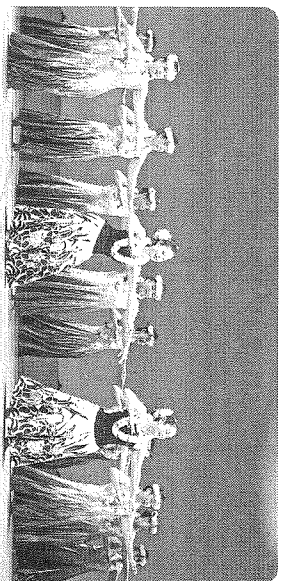
<https://jobunkyo.jp>



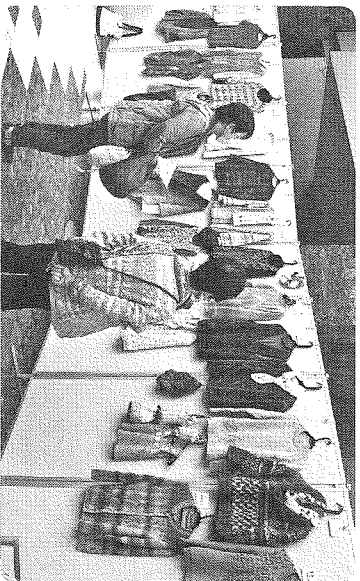
「勇壮な演奏の和太鼓」

市民文化祭を開催

元氣出る楽しい時間を提供



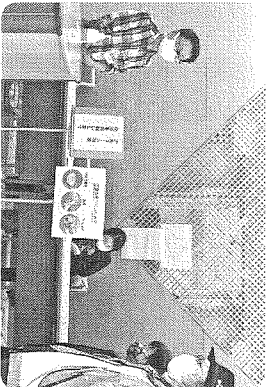
優雅に踊るハフアイソフアラ



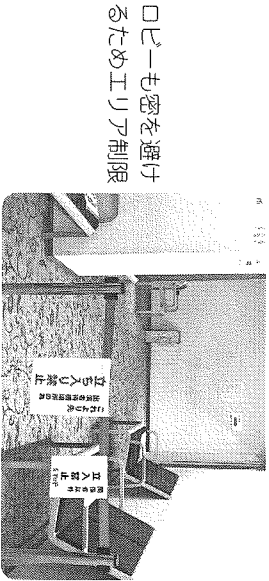
丹精込めたクリエイター作品展

城陽市文化芸術協会は、コロナ禍の情勢の下で、細心の注意を払いつつ「城陽市民文化祭」を開催、多くの市民に来場していただき、大きな拍手を受けました。近隣の市町の文化祭がコロナ禍の中で自粛し中止を決めたことを受け、当協会では出演・出展者の意向を聞き、実施する前向きな姿勢で臨みました。実施するには、3密を避けるため、観客席は空席スペースを設け、来場者の体温測定、マスク着用、待機場所など、いろいろな角度から考察し対処し開催しました。

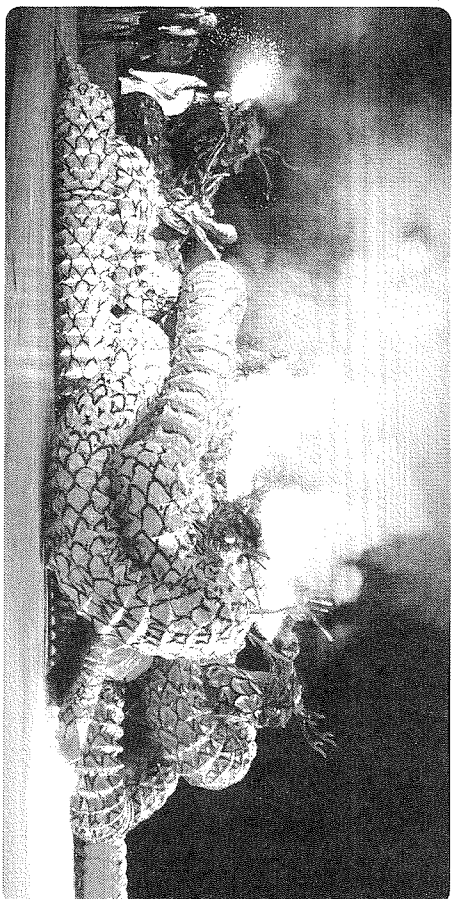
「市民アート展」「茶席といけ花」など中止となったイベントもありましたが、「煌めき☆舞台フェスタ」「市民音楽祭」「クリエイター展」「切手展」「俳句大会」を開催。家に閉じこもりがちなコロナ禍の自粛生活の中で、市民の皆様に楽しい時間を提供できたのではないかと自負いたしております。



受付では検温、消毒を実施



ロビーも密を避けるためエリア制限



石見神楽の演目「大蛇」

平成4年に設立された城陽市文化芸術協会は、30周年を迎えるとともに、第60回を数えようとしている市民文化祭を目の前に控え、令和4年度に記念式典、記念イベントの開催、記念誌の作成を行う準備を進めています。記念イベントにつきましては、企画会議を重ねる中で、一度ご覧いただいた市民の皆様から再演の要望も強い「石見神楽」を招聘することにきまりました。石見神楽は島根県の伝統芸能であり、ご存じない方は得てして京都で見られる神社の巫女神楽を想像しがちと思います。しかし石見神楽は神話をベースにしたストーリー展開の中で、舞う神楽です。踊りはゆっくりとしたものでなく、スビード感のあるものです。しかも着ている衣装は金銀糸が織り込まれた60キロ程度の重いもので、激しい舞台は、凄い体力を必要とします。

協会設立30周年記念イベント

伝統芸能石見神楽が再演

沖繩エイサー太鼓もコソボ



石見神楽の中で、最も見たえのある「大蛇(おろち)」という演目。八岐大蛇やまたのおろちの話を演じる舞台です。花火の火を口から吹く大蛇8匹を須佐之男命(すさのおのみこと)が退治する神楽は凄

い迫力です。前回は宇治田楽とコラボしたイベントでしたが、今回は沖繩のエイサー太鼓と、重苦しい気分を一掃するような元気のイベントは令和4年夏ごろに販売予定です。記念式典は令和5年1月21日(土)に開催を予定しています。式典で大きな節目を祝いながら、令和を機に「城陽市文化協会」から「城陽市文化芸術協会」に名称を変更した組織が、さらに発展していることを意識統一の機会になればいいと考えています。

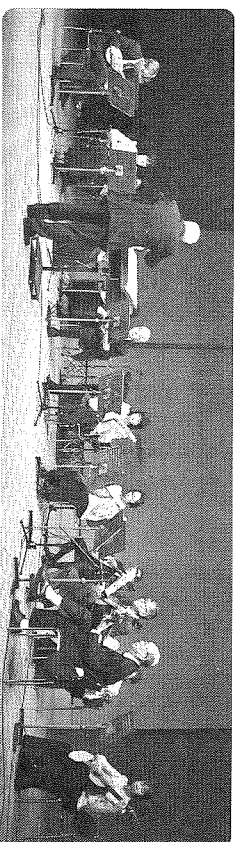
記念誌は、約100ページでカラー刷りにしたいと、作成作業に入っています。カラーにすることによって、歩んできた足跡を鮮明に残していきたいと考えています。

城陽市文化芸術功績賞を受賞

半世紀にわたり市内洋楽を先導

城陽市文化芸術協会に所属する城陽マンドリンクラブ(関根治男代表)が令和3年度同市文化芸術功績賞を受賞。50年の半世紀の活動歴に花を添えました。

同市文化芸術功績賞は、同市の文化芸術に貢献し、功績を残した個人、団体に贈られる栄誉であり、当協会は審査会を設け、同マンドリンクラブ会長(の審査を経て、同芸術推進会議(吉田喜内)を推薦しました。市文化賞が決定。昨年11月に表彰されました。



同マンドリンクラブは1971年に同好会として発足し、同年から市民文化祭に出演。平成4年、文化芸術協会(設立当初は文化協会)に所属し活動しています。洋楽連絡会という連盟があり、この組織も同じですが、この組織も同マンドリンクラブが市内の音楽グループに呼び掛けて結成されたもので、市における洋楽の中心的存在としても活動しています。今年6月5日(日)には文化パルク城陽ふれあいホールで「創立50周年記念コンサート」を開く予定であり、半世紀にわたる活動は十二分に功績賞に値するものです。